

会 議 録

会議の名称	第４回 杵築市行政改革推進委員会
開催日時	平成３０年１１月２０日（火曜日） 午後２時から午後４時１５分
開催場所	杵築市役所本庁舎 ２階 第２会議室
議 題	別紙資料のとおり
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
議事 （１）事業評価報告書について （２）第３次行政改革大綱実施計画について （３）その他	
審 議 内 容	
（委員長あいさつ） ○委員長：前回の委員会での質問等について事務局より説明をお願いします。 ○総務課係長：説明に入る前に、１９１番の鉄道駅舎管理委託事業について、前回、無人化の検討をという評価を決定したが、委員より発言の訂正の申し出があった。無人駅と思っていた事例が実際は有人化されており、違っていたということで、評価を継続妥当と変更してよいか。 ○委員：よい。 （事務局より配付資料の確認） ○総務課係長：配付資料の確認を行う。「事業評価シートに対する	

行革推進委員会の質疑・要望」これは、前回の委員会で質疑・要望に対する各課からの回答である。次に、「事業評価シートの修正案」であるが、来年度以降はシートをこの様式に変更したい。今まで、同じような項目で別々の様式を使用していたが、総務課、政策推進課、財政課で統一したものである。指摘があれば変更可能である。担当課の事務の軽減にもなり、現在の評価シートにある項目はすべて満たしていることは確認済みである。記載例も配付している。次に、「事業評価報告書（別冊）」は、前回配付した報告書の別冊である。それぞれの事業名と外部評価とコメントを記載している。次に、「進捗管理シート一覧表」は、すでに配付しているシートを一覧表にしたものである。確認は以上である。

（前回の委員会での質問等について事務局より説明）

155 番 児童・生徒学習状況把握調査事業

○総務課係長：前回保留としていたが、評価をお願いしたい。本当に効果があるのかということであったが、学校教育課の回答としては、この調査は、市内小中学校の学力状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、教育に関する継続的な検証サイクルを確立することを目的としている。また、学校における児童生徒への教育指導の充実・改善に役立てている。小学4年生と中学1年生において、杵築市費で調査を行っており、この調査は県内18市町村全てで実施している。4年生は、高学年になり、学習も複雑になってくるにあたり、4月に調査をすることで年度当初の学力を客観的に把握し、指導の重点を定めるようにしている。同様に、中学1年生においても、4月の調査で小学校の学習の理解状況を把握し、各教科指導に役立てている。各学校は、学校評価で市の学力の指標としており、達成状況の評価・検証を行い、PDCAサイクルで授業改善（学力向上）に役立てている。こうい

う理由で学校教育課としては、継続したいとのことだが、評価を協議していただきたい。

○委員：県内18市町村はそれぞれ自分のお金でやっているのか。同じ問題なのか。18市町村の結果は比較ができるようになっているのか。同じ問題で比較できるなら意味があるかもしれない。

○総務課長：小学4年、中学1年生はそれぞれの自治体、小学5年、中学2年は大分県教育委員会、小学6年、中学3年は文科省がやっている。子どもは4年生から中3までずっとテストをやっている。教育委員会からしても杵築市だけやめるとするのは考えにくく、横並びで実施していると思う。

○委員：問題が違って、それを横並びに比較はしていないのではないか。していなかった気がする。

○総務課長：確認する。

○総務課係員：確認したところ、18市町村での比較はしていない。市によって問題（業者）が違うとのこと。

○委員長：市の学力調査を学力の指標としており、達成状況の評価・検証を行うと書いてあるのでそれを言っているのだろう。

○委員：横の比較ではなく、各学年での達成状況をみるのが目的だろう。それが評価に役立てばいいがそれがわからない。

○委員：教科書は全県下一緒なのか。

○総務課長：教育事務所管内で選定するので違う可能性もある。

○委員：わからない部分もあるが、担当課や現場は必要だと思ってやっている調査であるなら継続でよい。

○委員：実質、学校で必要なものは、他市町村との比較ではなく受け持っている子どものどこが強くてどこが弱いのかを把握して明日からの実践に生かしたいというのが担任であると思うので市独自の調査はよいと思う。

○委員：企業的な考え方になるかもしれないが、18市町村がそれ

ぞれ業者と契約して問題作成、分析をするというのはむだである。県全体で同じ問題をやれば、各市町村ともコストを削減でき、横並びの比較もできると思う。この調査には反対しないが、やり方が不思議である。

○総務課長：教科書が違えば問題も違うので一概には言えないが、今の意見を担当課に伝える。

○委員：学術的なことではなく、行財政改革として1円でも杵築市として落とす努力をしてほしい。別府教育事務所管内で教科書が同じならそこだけでも一緒にやればコスト削減になるのではないか。

〔評価：事業の継続は妥当であるが、事業費の削減に努めること。
（別府教育事務所管内の市町村と合同で学習状況把握調査を行う等事業費削減の検討を）〕

110 番 観光振興事業

○総務課係長：前回の意見としては、事業をするからには簡易なものでもいいので計画はあるべきである。国民文化祭のイベントを活かし、着物レンタルだけでなく着物文化を発信する等杵築市独自のものに工夫をしていくべきということであった。この回答として、平成30年度から商工観光課と観光協会で事業項目の擦り合わせを行い、事業を実施している。今年度は、ラグビーW杯等外国人受入れ環境整備事業を重点項目に設定しており、31年度分は現在協議中である。国民文化祭の実績を踏まえ、城下町らしく「茶道」と「着物」の連携等「日本文化」を発信していくとのことである。

114 番 地域商社設立・創業支援事業

○総務課係長：前回の意見としては、売上目標と実績を提示すること、目標に未達成だとしてもどうなっているか知りたいということであった。この回答として、平成30年4月2日地域商社「株式会

社きつとすき」を設立した。平成30年度の売上目標は30,702千円で、そのうち約96%にあたる29,467千円は市からの受託事業で、残りの1,235千円が自主事業となっているとのことである。

118 番 横岳自然公園費

○総務課係長：前回の意見としては、夢のぼりとの連携ができないか、新しくできるバイパスを活かした利用促進のPRや仏像群の活用、いつかは自立してもらいたいということであった。この回答は、PRについては、ホームページやフェイスブックにより随時発信しているとのことであり、キララ館については更なる利用促進のため、月ごとの見える星座などを紹介していく。今後は、県道杵築大田線が開通すると利便性が向上するため、もっとPRしていくとのことである。夢のぼりとの連携については、宿泊者は夕食・朝食を希望する方は夢のぼりを利用している。営業時間は、土日祝であり、今後は5月の連休や夏休み、紅葉シーズンに営業できないか協議をするということである。経営の改善については黒字転換は困難であるが、短期目標としては、広報や接遇に力を入れ、これまで以上に利用者の増加を図ることを目標とするということである。

125 番 資源ごみ収集処理事業

○総務課係長：前回の意見としては、以前、議会で杵築市は赤ちゃんの誕生祝いにごみ袋をあげているという答弁があったが、お祝いにごみ袋をあげているわけではないので、認識の徹底をとということであった。この意見に対する回答は、乳児に対する「もえるごみ袋」の支給については、廃棄物の処理及び清掃に関する条例にある手数料の減免規定を受けてやっている。同じく65歳以上の寝たきりで在宅介護でオムツが必要な方等へのごみ袋支給についても、手

数料の減免措置としての現物支給である。特に、乳児に対する支給については、誕生のお祝いにもらったものと誤解されないように今後は支給窓口で支給理由を正しく伝えるよう徹底していくとのことである。

139 番 不妊治療費助成事業

○総務課係長：前回の意見としては、県への負担金は何か。申請は4件で県の負担金は20件とあるがこれは何かということであった。この回答として、不妊治療費助成事業は、2本立てであり、1つは県の事業、もう1つは市の事業であり、県の事業は、胚移植等の特定不妊治療に対し、国・県・市が助成するもので受付は県が行い、市の申請件数に対して市が負担金を支払うものである。市の事業は、県の助成対象外となった人工授精に対する市独自の助成で受付は市で行うものである。実績についての20件は、県が受付を行って負担金を払ったものであり、4件は県の対象外となった杵築市独自のものであるということである。以下詳細は資料をご一読願えればと思う。

152 番 学校給食センター建設事業

○総務課係長：前回の意見としては、直営と民間委託とを早急に検討すべきということ、民間委託したとしても安心安全と栄養バランスは確保してほしいということであった。この回答として、民間委託の調査・検討を開始し、2019年度末までに方向を明確にする。検討の結果、民間委託となった場合でも、これまで同様安心安全でバランスのよいおいしい給食の提供に努めるということである。

154 番 教育立市プラン推進事業

○総務課係長：前回の意見としては、学校教育だけでなく生涯学習の視点も必要ということであった。この回答として、来年度からは、所管を学校教育課から教育総務課に変え、生涯学習の視点を含めた教育全般の取組にしていくとのことである。

165 番 スポーツ合宿等補助金事業

○総務課係長：前回の意見としては、投資効果があるなら拡大、数字だけでなくプライスレスのもの等波及効果を含めた評価をとということであった。この回答としては、効果を見るためにアンケートを実施したということである。内容は資料に載せている。アンケート結果では、来年も利用したい等の声が多く聞かれ、実際に上村の郷はサッカー合宿のリピーターも多いとのことである。他の宿泊施設でもテニスや剣道での合宿によるリピーターも見られ、今後杵築での合宿の定着が期待される。今後については、市内に多人数受け入れ可能な宿泊施設が少ないことから現状と同規模で継続した補助を行いたいと考える。また、市外からの合宿受け入れにより、交流人口が増加し、市内観光や市内消費により地域活性化に繋がることを期待しているということである。

171 番 市駅錦江橋線道路改良事業

○総務課係長：錦江橋の改良事業についてである。前回の意見としては、いつ通れるようになるのかということであった。錦江橋は、当初の予定では今年度中完成ということであったが、工事期間が延長されそうである。また、国道213号から錦江橋を渡った箇所之三差路、交差点が複雑だということについては本工事の施工範囲外となっている。しかし、錦江橋の高さが低くなり三差路との高低差が少なくなること、現錦江橋の上流側に新橋を設置したことによって市駅錦江橋線のカーブが緩くなること等により、ある程度改善

される見込みであるということである。

○総務課長：期間延長の主な理由は、当初は、213号線を片側通行にするということで土木事務所と協議していたが、それがだめだということで仮設の道路を三河の錦江橋から南側に作って通して、工事が終わった時に仮設道路を廃止するということになり工事規模が大きくなったということである。

○委員：お金もまた上がるのか。

○総務課長：まだ金額はわかっていないが、平成27年のスタートから完成までに国の補助金もかなり入っているが、全体で17億くらいになりそうである。

○副委員長：現錦江橋は高く、新しいのは低いが、津波等の時に高い方がいいのではないかと考えるが、なぜ低くなったのか。

○総務課長：議会でもあったが、構造計算等した時には、それがいいようである。

188 番 コミュニティバス運行事業、189 番 乗合タクシー事業

○総務課係長：前回の意見としては、行政的には赤字でもやるべきではあるが、より効率的な運用をすることということであった。この回答としては、人口減少等による公共交通利用者の減少や運転手不足等によってバスやタクシーなど民間事業者による公共交通の維持が困難になってきている。コミュニティバスの運行により、高齢者をはじめとした交通弱者の移動手段を確保することが必要であるが、市内全域を網羅するには多額の事業費を要するので利用者の多い路線や各地域の小さな拠点施設を繋いで運行するなど、効率の良い公共交通体系の構築により、交通利便性の向上と安定した公共交通網の形成を図るということである。

○委員：乗合タクシーの件だが、今日の市報に山香地区の乗合タクシーの中止が出ていたようだ。

○総務課長：山香地区は11月末で乗合タクシーを止めてコミュニティバスに切り替える。

○委員：乗合タクシーを止めてバスを充実させるということによいか。

○総務課長：そうである。

○委員：了解した。

198 番 水道施設第1次拡張整備事業

○総務課係長：前回の意見としては、一度立ち止まって徹底的にコスト削減を検討すべきということであった。この回答としては、コスト削減に最大限努力しつつ、最も重要なライフラインであることから、将来にわたって、安全安心で安定的な水道水の供給や持続可能な水道経営に努めていくということである。

204 番 住民自治協議会の支援

○総務課係長：前回の意見としては、住民自治協議会は、地域によって温度差がある。地域の実情にあった取組ができている地区もあるが他地区に情報が広がっていない。他地域の情報もあったほうが元気になる地域が増えるのではないか。地域で特色のある活動をしてほしい。アドバイザーはつくれないかということであった。この回答としては、年数回開催している住民自治協議会連絡協議会の中で、各自治協の活動報告や情報交換を行うようにしている。今後はさらに各自治協間の情報共有の機会を増やすように努める。自治協と行政とのパイプ役、アドバイザーとして、地域支援員を5つの自治協で配置している。今後はさらに配置する自治協を増やし、地域ごとに特色ある活動ができるよう体制の充実に努めるとのことである。

207 番 学生チャレンジ事業

○総務課係長：前回の意見としては、学生チャレンジ事業本来の目的に事業費をとということであった。この回答としては、この事業は元気で活力あるまちづくりを目指すことを目的として、地域の課題を若い世代の力やアイデアで解決するため学生等自らの企画提案により実施する公益性の高い事業に要する経費の一部に対し、学生による地域課題の解決チャレンジ事業補助金を交付している。市報やホームページ等により企画立案を募りたいと考えているとのことである。

（事務局より事業評価シートの修正案様式の確認）

○委員：歳入歳出は予算を書いているのか。予算の比較はできるが、実績がないと本当に必要なお金だったのかがわからない。どのくらい予算が余ったのか足りなかったのか見えないとPDCAのアクションのところにもっていけなくなる。予算イコール予算で出てくると担当者の努力も見えない。

○総務課係長：2年分は比較できるが、予算決算の比較表がない。比較表を載せるように検討するがワンペーパーでおさまらないかもしれない。予算も当初と補正で変わることもあるので難しい。この表記は国、県の決算予算の見方としてオーソドックスな書き方である。

○委員：紙はこれ以上増やしてはだめなのでワンペーパーでできれば検討してほしい。予算と実際に使った金額が見えるようにしてもらえるとよいという意見である。本人もそうだし、管理する側も予算の中で仕事をしたのか実績がないと管理しにくいのではないか。

○総務課係長：いただいた意見について3課で協議する。

○委員長：他に意見等はないか。なければ、議事に移る。（1）事業評価報告書について事務局より説明をお願いします。

((1) 事業評価報告書について事務局より説明)

○総務課係長：前回の委員会で報告書案として配付したものをご覧いただきたい。また、本日、配付したものはその報告書案に付ける別冊のコメント一覧表である。前回、配付した平成30年度事業報告書(案)の4ページ中段(2)であるが、外部評価の結果を廃止1、内容見直し8、縮小1、継続139、拡大1、合計150と記入する。一次評価、二次評価についてもそれぞれの評価結果の数を記入する。次に別冊のコメント一覧表について、「事業の継続は妥当である」以外のものについては読み上げて確認する。(コメントを読み上げて確認)。以上であるが、修正や意見等あればお願いします。

○委員：どの項目で言ったらいいかわからないが、行政相談員の研修があり、大分のNPOの人から引きこもりの話があった。杵築市が引きこもりやDV対策で避難のアパートを作っているという話を聞いて感動したが、知っているか。もしそういうところがあるなら広めていくといいと思う。

○総務課係長：聞いたことはない。農福連携の事業でアパートの改修をしたのは知っている。児童相談所や預けられている施設の子ども達が杵築にきて農業を体験する時にはそこに宿泊している。無償提供されたアパートを市が改修してNPOが運営しているのは知っているが、引きこもりやDVの話は初耳である。

○総務課係員：福祉推進課に確認したところ、農福連携事業の対象者を引きこもりの方まで拡大して自立支援のためにアパートを利用しているとのことである。DV対策での利用はしていないとのこと。

○委員：事業評価報告書の書き方について、2ページ※1のところで「事業自体を整理するため」ではなく、「事業の進捗を評価するため」に変えたほうがよい。3ページの②の3段目に「また、」を

入れるべきである。

○総務課係長：変更する。

○委員長：事業評価報告書については、以上でよいか。その他意見がないようなので次の議事に入る。（２）第３次行政改革大綱実施計画について事務局より説明をお願いします。

（（２）第３次行政改革大綱実施計画について事務局より説明）

○総務課係長：第３次行政改革大綱実施計画の進捗管理について、大きい項目としては４５項目であるが、実際の項目数は、例えば未収金対策という項目があつて複数課に未収金があるため項目が複数ある。大項目は同じ未収金対策であるが枝番として複数あげている。その関係で、全項目は７２項目である。進捗度は何％、評価はＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄとあり、所属長の一次評価、総務課長の二次評価まで終了した段階の評価を書いている。Ａ．予定通り実施が４３項目、Ｂ．一部実施が２２項目、Ｃ．未実施が５項目、Ｄ．未実施が２項目ある。この進捗度と進捗評価がこの評価でいいのかどうかを判断していただきたい。最終的にはこの委員会の評価が最終評価となる。それでは１番から順番に、進捗度、評価を決めていただきたい。

１番 協働のまちづくりの推進

〔質疑、意見なし〕

〔進捗度：１００％ 進捗評価：Ａ．予定通り実施〕

２番 男女共同参画の推進

〔質疑、意見なし〕

〔進捗度：７０％ 進捗評価：Ｂ．一部実施〕

３番 住民自治の充実

〔質疑、意見なし〕

[進捗度：１００％ 進捗評価：Ａ．予定通り実施]

４番 市民活動に対する支援機能の充実

[質疑、意見なし]

[進捗度：８０％ 進捗評価：Ｂ．一部実施]

５番 市民提案制度の充実

[質疑、意見なし]

[進捗度：１００％ 進捗評価：Ａ．予定通り実施]

６番 意見箱・メール等による意見聴取

[質疑、意見なし]

[進捗度：１００％ 進捗評価：Ａ．予定通り実施]

７番 市民満足度調査の実施

○委員：未実施とあるが、実施したと書いてあるのでＢ．一部実施なのではないか。

○総務課長：アンケートの統計手法について協議を実施しただけでアンケートは実施しなかったということである。

○委員：それならば評価はＣでよい。

[進捗度：－ 進捗評価：Ｃ．未実施]

８番 市政情報の積極的な公開・提供

[質疑、意見なし]

[進捗度：１００％ 進捗評価：Ａ．予定通り実施]

９番 総合窓口サービスの推進

○委員：中止なら平成３０年度以降の数値目標等の欄は消すべきで

ある。

○総務課係長：消す。

〔進捗度：－ 進捗評価：D．中止〕

10番 環境保全の推進

〔質疑、意見なし〕

〔進捗度：100% 進捗評価：A．予定通り実施〕

11番 指定管理者制度による管理運営の推進

○委員：あとでまた出てくるのでここで確認しておいた方がいいと思うが、進捗度88%でA．予定通り実施となっている。後ろで出てくる他の事業でも90何%でもあればAもある。目標を立ててその進捗度が99%でも、100%以外はAではなくBにする等評価のスタンスをはっきりさせたい。

○総務課長：目標の立て方と進捗度についてもなぜ70%なのか88%なのか90%かは実際、微妙である。

○委員：一つ一つをそうやって解釈してしまうとわからなくなる。まあまあAでいいのではないかと丸めてしまうのか、あくまでも目標に達してないからBにするのかどちらがいいのか。目標が高かったとしても目標に届かなければ単純にBと判断したほうがいいと思うがどうか。

○総務課長：そのような判断でよいと思う。88%なので評価はBとする。来年度は目標を立てる時にきちんと説明したほうがいい。

〔進捗度：88% 進捗評価：B．一部実施〕

12番 アウトソーシング（外部委託等）の推進

〔質疑、意見なし〕

〔進捗度：50% 進捗評価：B．一部実施〕

13番 水道事業の統合

○委員：いずれも完了していると書いてあるのに80%なのはなぜか。

○総務課係長：目標設定に無理があり、予定貸借対照表は29年度決算ができないとできない。決算ができてないのでできなかったということである。そもそもできないことを目標としている。

○委員：毎年そうなるのではないか。

○総務課係長：毎年である。目標の立て方とこの実績を書いてもらう調査時期（7月～8月頃）が問題である。今書けば、9月の決算委員会も終わったので、決算もでき100%になる。

○副委員長：この評価を完成させて出すのはいつか。

○総務係長：12月か1月。

○副委員長：そうするとその時点であれば100%だろう。Aでよいのではないか。

○総務係長：担当課に確認し、今できていれば100%でAとする。できていなければ、このままBとする。

〔進捗度：保留 進捗評価：保留〕

14番 図書館運営方法の見直し

〔質疑、意見なし〕

〔進捗度：100% 進捗評価：A. 予定通り実施〕

15番 地区公民館の事業と運営方法の見直し

〔質疑、意見なし〕

〔進捗度：100% 進捗評価：A. 予定通り実施〕

16番 市立幼稚園の見直し

〔 質疑、意見なし 〕

〔 進捗度： 100% 進捗評価： A. 予定通り実施 〕

17番 市立小学校の適正配置

〔 質疑、意見なし 〕

〔 進捗度： 100% 進捗評価： A. 予定通り実施 〕

18番 包括支援センター組織の見直し

○副委員長：新センターというのは既存の建物の中に新しくできるのか。

○総務課長：箱モノは作らない。今は、子どもと介護の包括支援センターはあるが、その間の世代はない。それを一本化して全世代型の包括支援センターにしようとしているが課題が多い。現場は今でも連携をとってやっている。目標は32年の4月開設としているが厳しいと思う。

〔 進捗度： 50% 進捗評価： B. 一部実施 〕

19－1番 外郭団体の見直し

〔 質疑、意見なし 〕

〔 進捗度： 100% 進捗評価： A. 予定通り実施 〕

19－2番 外郭団体の見直し

〔 質疑、意見なし 〕

〔 進捗度： 30% 進捗評価： B. 一部実施 〕

20番 ケーブルテレビ事業の管理運営方法の見直し

〔 質疑、意見なし 〕

〔 進捗度： 100% 進捗評価： A. 予定通り実施 〕

21番 市立病院の在り方についての検討

〔質疑、意見なし〕

〔進捗度：100% 進捗評価：A. 予定通り実施〕

22番 本庁支所方式への移行

○委員：中止なら次年度以降は消していいのではないかな。

○総務課係長：消す。

〔進捗度：－ 進捗評価：D. 中止〕

23番 組織機構の見直し

〔質疑、意見なし〕

〔進捗度：100% 進捗評価：A. 予定通り実施〕

24番 定員適正化の推進

○委員：4月1日に策定できたならAでいいのではないかな。

○総務課係長：年度内にはできなかったもので評価は未実施にしたい。

○委員：了解した。

〔進捗度：－ 進捗評価：C. 未実施〕

25番 嘱託員・臨時職員の適正配置

○委員：7人も減ったなら目標達成としてもよいのではないかな。

○総務課係長：全体では減ったが、市長部局では増えたのでBということである。

○委員：了解した。

〔進捗度：50% 進捗評価：B. 一部実施〕

26番 給与の適正化

[質疑、意見なし]

[進捗度 : 100% 進捗評価 : A. 予定通り実施]

27番 諸手当の見直し

[質疑、意見なし]

[進捗度 : 100% 進捗評価 : A. 予定通り実施]

28番 人材育成の推進

[質疑、意見なし]

[進捗度 : 100% 進捗評価 : A. 予定通り実施]

29番 人事評価制度の推進

[質疑、意見なし]

[進捗度 : 100% 進捗評価 : A. 予定通り実施]

30番 職員提案制度の推進

○委員 : この提案には報奨金は出すのか。

○総務課長 : 出さない。

○委員 : 企業では将来企業の利益になるような提案に対しては報奨金を出すので、1人で10件提案する人もいる。

○総務課長 : 自治体によっては、金一封を出しているところもあるが杵築市では出していない。

[進捗度 : - 進捗評価 : C. 未実施]

31番 庁内システムの最適化

[質疑、意見なし]

[進捗度 : 100% 進捗評価 : A. 予定通り実施]

32番 情報セキュリティの強化

[質疑、意見なし]

[進捗度 : 100% 進捗評価 : A. 予定通り実施]

33番 事務マニュアルの整備

[質疑、意見なし]

[進捗度 : 100% 進捗評価 : A. 予定通り実施]

34番 健全な財政運営

[質疑、意見なし]

[進捗度 : 30% 進捗評価 : B. 一部実施]

35番 新地方公会計の整備

[質疑、意見なし]

[進捗度 : 100% 進捗評価 : A. 予定通り実施]

36番 財務事務の見直し

[質疑、意見なし]

[進捗度 : 100% 進捗評価 : A. 予定通り実施]

37番 公営企業の経営健全化

○委員：病院事業は赤字となっている。赤字でも達成になるのか。

○総務課長：将来収支の試算を目標としているので黒字でも赤字でも試算したので目標達成としている。

○委員：黒字の収支試算を作っているのではないのか。

○総務課長：病院は赤字だと思う。

○委員：赤字になったということは、未達成でBなのではないか。

○委員：病院は今、運営はよいと聞いたが。

○総務課長：一時はよかったが２９年度は赤字で３０年度も赤字になるだろう。職員をあげての努力はしているが人口減や医療動向が別府方面になっているので難しい。

○委員：病院事業の赤字をどこかで評価するところがあればそこで評価すればよいが、なければここはＢである。目的は黒字化の維持であり、目標に未達成なのでＢでいいのではないか。

○総務係長：担当課に確認して目標が黒字化であれば、未達成でＢとする。

○委員：今後も黒字化が難しいのであれば、目標設定を黒字化にせずに、赤字の額を減らすことにすればいいのではないか。

〔進捗度：保留　進捗評価：保留〕

38番　特別会計の見直し

〔質疑、意見なし〕

〔進捗度：１００％　進捗評価：Ａ．予定通り実施〕

39番　公金預金の運用管理

〔質疑、意見なし〕

〔進捗度：１００％　進捗評価：Ａ．予定通り実施〕

40番　使用料の見直し

○委員：これはなぜＡではないのか。

○総務課係長：目標は各施設の経費を把握し、利用状況を調査して適正な手数料、使用料に改定することであるが、改定していないので未実施である。

○委員：了解した。

〔進捗度：－％　進捗評価：Ｃ．未実施〕

41番 税収の確保

[質疑、意見なし]

[進捗度：100% 進捗評価：A. 予定通り実施]

○総務課係長：42番の未収金対策は次回の議題とする。

43番 普通建設事業費の年度間平準化

[質疑、意見なし]

[進捗度：30% 進捗評価：B. 一部実施]

44番 補助金等の見直し

[質疑、意見なし]

[進捗度：30% 進捗評価：B. 一部実施]

45番 事業評価の実施

[質疑、意見なし]

[進捗度：100% 進捗評価：A. 予定通り実施]

○委員長：最後に意見、質問等はないか。ないようなので、次回の日程を決定する。

○総務課係長：次回は、1月下旬に開催したい。

○委員長：次回は、1月24日（木）の開催とする。

（休憩中の意見）

○委員：来年度に向けて目標設定を変えた方がいい項目があるのではないか。もしくは、評価について、90%をAとする、何%以下をBとする等の基準を見直す必要がある。